

試験日 : 2025 年 9 月 13 日 (土)

入試種別 : 大学院入学試験(4 月入学)修士課程 秋期試験 一般入試

学部・研究科 : 文学研究科 仏教学専攻

科目名 : 専門科目

解答又は解答例

問 1 仏教教義 3 題の中、一題を選択して解説する。

- ① 「三蔵」については、一切経とか大蔵経とも呼ばれ、経・律・論の 3 つであり、
仏教の典籍群の総称であること、および経蔵は仏陀の説いた教え（経典）、律蔵は仏
陀の定めた戒律、論蔵はこれらに対する註釈であることが記述できているかが評価
基準となる。
- ② 「唯識」については、唯だ識（こころ）のみであり、すべての事象はこころがつ
くり出したものであるとする大乘仏教の重要な教理であること、およびインド大乘
仏教の二大潮流の一つであって、無著・世親によって大成され、中国・朝鮮半島を
経て日本にいたっているが、特にこころを八識でもって説く見解は、玄奘やその弟
子慈恩大師基によって法相宗として成立したことなどが記されているかが評価のポ
イントとなる。
- ③ 「即身成仏」については、この身このままでこの世において成仏できるとする密
教の最重要教理であり、空海によって大成されたこと、さらに空海の『即身成仏
義』等にその思想が顕示されていることなどが記述されているかが評価基準とな
る。

問 2 仏教史上の人物 3 名の中から、一人を選んで解説する。

- ① 「目連」については、釈迦の十大弟子の一人であり、また舍利弗と並んで仏の二
大弟子とされ、神通第一と称された人物であることなどが記されていれば可であ
る。
- ② 「善導」については、中国唐代の浄土教の大成者であり、『観無量寿経疏』等の
著作において、称名念仏の重要性を説き、日本の法然等に多大な影響を与えたこ
とが記述されているかが評価基準となる。
- ③ 「道元」については、鎌倉時代に中国から曹洞宗をもたらし、日本における曹洞
宗の開祖となったことや、『正法眼藏』などの書を著し、只管打坐や修証一等など
の教義を確立したこと、また永平寺を開いてその根本道場としたことなどが記され
ているかが評価のポイントである。

問 3 仏教の典籍 3 点の中から、一題を選択して解説する。

- ① 『法華経』については、大乘仏教の代表的經典であり、特に鳩摩羅什の訳した

『妙法蓮華經』によって天台宗や日蓮宗が成立していることや、この經典は一切皆成、一乗三乗、諸法実相などの重要教理がと説かれていること等が記述されているかが評価のポイントとなる。

- ② 『大乘起信論』については、馬鳴の作と伝えられており、一心・二門・三大・四信・五行という体系的な構成から成り、一切衆生は仏性を有しているという如来蔵思想を説いて、後の仏教に多大な影響を与えたことなどが記されているかが評価基準となる。
- ③ 『往生要集』については、平安中期に恵心僧都源信によって、諸教論から往生の要文を集めて著された書であり、厭離穢土・欣求淨土の思想が示され、念仏の重要性や地獄・極楽観を日本に根付かせた著作として、後世に多大な影響を与えたことなどが記されているかが評価基準となる。

問4 『大乘義章』巻12の「六波羅蜜」に説かれている内容を解説する問題である。

六波羅蜜とは檀（布施）・尸羅（戒）・羼提（忍辱）・離耶（精進）・禪那（思惟修）・般若（慧）の6項目で、それぞれ別訳（外国語）のあることと、その意味が記されており、この点が記述されているかが評価のポイントとなる。